



●VOL.34号 2010年12月20日 発行

県政・県議会報告

県議会議員 **大山しのぶ**
ニュースレター

風

■編集・発行／やしおマメ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000

Close Up

9月定例会・大山しのぶ一般質問特集

大山しのぶ県議、 新発想を提言!

医療・福祉の新たなグランドデザイン、
水政策、教育、安全・安心など、
9項目で知事と執行部に迫る。



大山しのぶ県議は一般質問の冒頭、「医療・介護の充実による県内経済の活性化について」を知事に問いました。これは大山県議が前号（「風」33号）の所感でも明らかにした様に、高齢者が急速に増える現代にあつて、高齢者への医療・福祉は、高齢者対策という狭い範疇で取られるのではなく、政治・経済・社会全体を見渡した公共財（社会インフラ）として大きな視点でとらえるべきという大山しのぶ県議の新発想を知事に示したものです。

医療・福祉を社会インフラとして整備。 大山県議の新発想に知事も努力を表明!

この具体策として大山県議は「県民の求める医療・介護サービスの供給の増加は、医師の供給を増やすことが必要になる。医師の数を増やすことができれば、病院のキャパシティを拡大することができ、看護師、医療技術者の仕事も増え、医療分野全般の就労者拡大につなげていくことができる」と提案。また、介護問題も「介護サービスの供給には、就労現場の仕事のきつさと、報酬の低さによる労働者不足があげられるが、介護サービスを高齢化が進んでいく社会における重要な社会インフラとして補填すれば、多くの雇用を生むことができる」と指摘、知事にその対応を求めました。

上田知事は大山県議の指摘に賛意を表明し「今後とも医療・介護や環境などの分野への積極的な投資を通じて、埼玉県力が成熟社会のトップランナーとして、ゆとりとチャンスにあふれ県民が安心して生活できる社会モデルを実現できるように努めてまいります」という答弁を引き出しました。大山県議は今後とも知事の政策の実効性を注視する所存です。

埼玉の「水」を積極的にアピール! 海外への進出を大山県議が指摘。

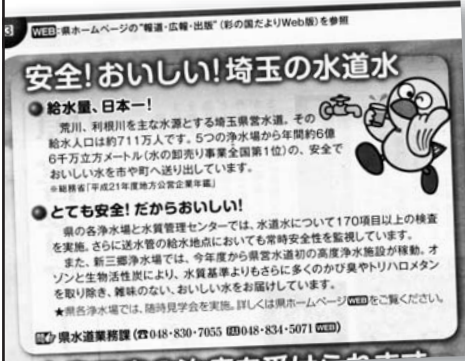
「県はトップレベルの技術と予算かけていながら（埼玉県の）安全でおいしい水」の県民における認知があまりにも低い。…県民は、ガソリンよりも高い輸入された水や他県産の高いペットボトルの水を飲んでいる」と大山県議は指摘。県民の消費拡大が水事業経営の安定つながることを念頭に埼玉県版「おいしい水プロジェクト」を提案。これに対し「（県の）水道水が安全でおいしく、そして低廉な価格であることを、様々な手段を通じ、積極的にPRしていく」と約束しました。その一貫として、県民向けの広報紙「彩の国だより（12月号）」には早速、埼玉県の水のおいし

さを紹介。今後も力を入れていくことになっています。

また、大山県議は、地球規模で水需要が増大し、水の重要性が飛躍的に高まる将来予測を「今世紀は水の世紀」と説明し、安定した水政策の必要性和埼玉県の水道事業を官民挙げた「オール埼玉による水ビジネス」の確立を求め、下水道処理事業も含めた海外へのビジネスの積極進出と現状の取り組みをたどりました。

これに対し、県は「県内の関連企業などの技術力を結集して、海外からの様々なニーズに柔軟に対応できる

ようにすることがセールスポイントになる」と見解を表明、「今後、(海外進出の)リスクを最小化するための具体的な回避策について、庁内でしっかりと検討する」と約束しました。



彩の国だより(12月号)の紙面

経済格差を学力格差につなげるな! 大山県議、異例の再質問で強く訴える

教育政策は、大山しのぶ県議が日本の未来を考える上で、国の根幹をなす政策として常に重要視している分野です。今回は長引く不況の中、「貧困の連鎖」が子供たちの教育に起こってはならないとの思いで、県に強く迫りました。大山県議は「(今は、学力を身につけるには)小中学校の授業だけでなく、塾による学習が必要」となっていて「経済困窮で塾に行けない子供の学力が低くなり、学力格差を招いている...小中学校の授業理解を学校内で徹底させることで、塾に行かなくても不利にならないように」と求めました。同時に、経済困窮家庭への学習支援事業の効果を問いただすとともに、平成24年度から新制度となる埼玉県公立高校入試制度についても、進路指導において、塾に通っている子供と通わない子供の間で情報の格差が出ないよう、要望しました。

さらに、大山県議は異例の再質問で「教育の中心は学校であると(発

言に)あったが、分かるまで丁寧な授業をするという本来の姿が不十分なために、生徒が学習塾で補習をしている状況がある。このことに対する取組を伺う。」と厳しく指摘。教育長からは「学校が一生懸命やってないから、十分でないから、という御質問がありました。十分だとは思っていません。まだまだ足りない。しっかりやらないといけないと...さらに一層、きめ細かな指導を行うために、教員の力を付ける。その危機感をもって、生徒に対する愛情をもって、しっかり伸ばすんだということをもって、学力の底上を図っていく。そういうことを学校全体でしっかり取り組んでいく。」という答弁がありました。大山県議はその行方に引き続き、目を光らせて参ります。

八潮市の地域問題にも積極対応。 執行部から前向きな答弁を引き出す

大山県議は治安の向上を求める地元の皆様の声を受けて、犯罪抑止策について、強く拡充を求めるとともに、八潮市の地域問題を取り上げ、市内に施設が現存し、不安の声の寄せられているオウム真理教(アレフ・ひかりの輪)対策の拡充を警察本部長に要請。公安調査庁と緊密な連携する旨の約束を引き出しました。同時に新中川橋の架橋に伴う都市計画道路草加三郷線の交差点整備について事業の促進を求め、前向きな答弁を引き出しています。



大山しのぶ県議・質問一覧..... 質問・答弁の全文は、大山しのぶホームページに掲載します。

- 1.医療・介護の充実による県内経済の活性化について..... 答弁者・知事
-これからの時代に求められる公共財とは-
- 2.水政策について
 - (1)安全でおいしい水のPRについて..... 答弁者・公営企業管理者
 - (2)水ビジネスの海外展開について..... 答弁者・環境部長
 - (3)下水道技術の国際戦略拠点について..... 答弁者・下水道事業管理
- 3.経済格差と学力格差との関係について..... 答弁者・教育長、福祉部
- 4.高校入試について
 - (1)新しい入学者選抜制度について..... 答弁者・教育長
 - (2)中学校における進路指導の充実について..... 答弁者・教育長

- 5.公共調達改革の推進について..... 答弁者・総務部長、県土整備部長
- 6.排出量取引制度について..... 答弁者・環境部長
- 7.感染症対策について..... 答弁者・保健医療部長
 - (1)多剤耐性菌対策について
 - (2)インフルエンザ対策について
- 8.県民の安心・安全の確保について..... 答弁者・警察本部長
 - (1)犯罪抑止対策について
 - (2)オウム真理教(アレフ・ひかりの輪)対策について
- 9.新中川橋の架橋に伴う都市計画道路・草加三郷線の交差点整備について..... 答弁者・県土整備部長

埼玉県議会議員

大山しのぶ

大山忍(おおやま・しのぶ) プロフィール

●昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(53歳)●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)~草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒。●昭和61年から国会議員秘書経験12年。●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ。●平成12年、埼玉県議会議員に初当選。(現在3期)●現在、企画財政委員会委員、暮らしの安心・安全対策特別委員長、決算特別委員長、埼玉県都市計画審議会委員、八潮市体育協会会長を務める。



◆ホームページのアドレスが変わりました。新しいアドレスは

<http://www.s-oyama.jp/>

〒340-0815 埼玉県八潮市八潮2-18-8
パークアヴェニューK

TEL.048-994-6000 FAX.994-6001